

2022年7月8日

各位

西武鉄道株式会社

【お詫び】池袋線 飛来物により発生した車両・架線損傷による長時間の運転見合わせについて

西武鉄道株式会社（本社：埼玉県所沢市、社長：喜多村 樹美男）では、2022年7月8日（金）、当社敷地外からの飛来物による車両および架線の損傷により、池袋線（池袋～飯能駅間）、西武有楽町線全線、豊島線全線において長時間にわたり運転を見合わせました。ご利用のお客さまおよび近隣の皆さまには、大変ご迷惑をおかけいたしましたことを、深くお詫び申し上げます。

詳細は、下記のとおりです。

記

1. 発生日時 2022年7月8日（金）7時46分
2. 原因 ひばりヶ丘～保谷駅間を走行中の列車（小手指発新木場行き・準急・10両編成）のパンタグラフに当社敷地外からの飛来物が付着し、パンタグラフおよび架線が複数損傷しました。これにより、通電を停止したうえでの架線の修復作業、および自走不可となった列車の移動に時間を要したため、長時間運転を見合わせました。
3. 経過
7時46分 ひばりヶ丘～保谷駅間の線路沿いに設置された工事用メッシュシートが風にあおられ、走行中の上記列車のパンタグラフと接触しました。
7時49分 保谷駅に到着した当該列車のパンタグラフの損傷を当社係員が発見し、池袋線（池袋～飯能駅間）、西武有楽町線全線、豊島線全線において運転を見合わせました。
9時46分 池袋線（所沢～飯能駅間）の運転を再開しました。
14時32分 池袋線（池袋～所沢駅間）の運転を再開しました。
15時39分 豊島線全線の運転を再開しました。
17時04分 西武有楽町線全線の運転を再開しました。
4. 影響
(1) 影響人員
約24万人
(2) 駅間での停車について
ひばりヶ丘～保谷駅間で当該列車の後続列車が停止したため、8時35分頃よりお客さま（約1,500名）を車外へ誘導し、9時40分頃に降車が完了しました。なお、停車中も当該列車の空調は使用されており、体調不良になられたお客さまはいらっしゃいませんでした。
(3) 踏切の継続遮断について
ひばりヶ丘～保谷駅間の踏切2カ所において、1時間以上にわたり踏切が遮断された状態が継続しました。

以上

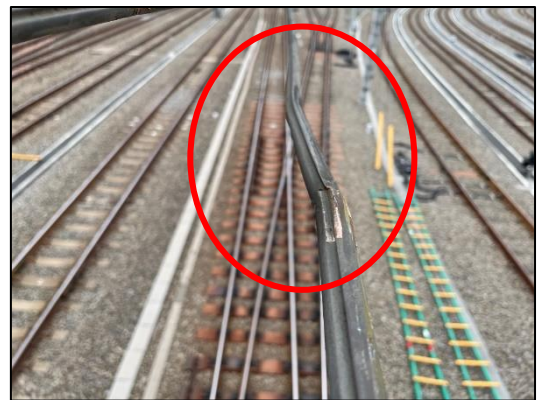
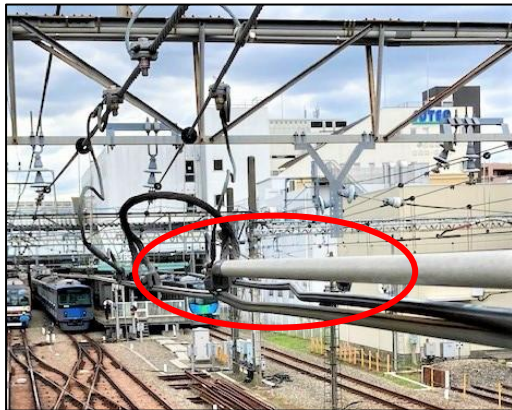
【別紙】

車両（パンタグラフ）および架線の被害状況

1. 損傷したパンタグラフ



2. 曲がった架線



3. 復旧作業の様子

